

グルジア政治・経済 主な出来事

【4月1日～4月7日】2013年

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年4月10日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

国際子どもフェスティバルへの参加取りやめ(4日)
・4月23日にトルコで開催される国際子どもフェスティバルにアブハジア代表団が「国」として招待されていたことにグルジアが抗議。
・2日、アブハジア代表団の資格は「グルジア・アブハジア自治共和国」に訂正された。それを受けて、アブハジアは参加を取りやめた。
アブハジア「政府」がシリアから帰還するアブハズ人の支援について検討(5日)
・チリクバ「外務大臣」は、シリア情勢の悪化に伴い、「2012年5月以降、シリアから186人のアブハズ人がアブハジアに帰還した」と発表。さらに今後も帰還が続く予定。

【南オセチア】

石油・ガスの不足が続く(2日)
・南オセチアに石油を輸入する「国営」企業が、「政府」からの支払いの遅れのために輸入が止まっていると発表。
露国境警備隊がジャリアシェニ村の住民を耕作地から立ち退かせる(4日)
・村民はこれまで、口頭での合意に基づいて、南オセチア側にある耕作地を自由に使用できていた。グルジア内務省が露国境警備隊に抗議。
拘束されていたグルジア人6人が解放される(5日)

2. 外政

パンジキゼ外務大臣がポルトガルを訪問(1日)
・ポルトラス外務大臣や国会議員らと会談。
エストニア軍代表団がグルジアを訪問(1日 4日)
米が資金を供給する海事情報融合センター(Maritime Fusion Center)がグリア地方にオープン(2日)
・「中継地としてのグルジアの安全」を高めるために、EXBS(Export Control and Related Border Security)プログラムを通じてつくられた。
・また、同プログラムにより、グルジア沿岸警備隊のポティ基地に船の修理施設がつけられた。
パンジキゼ外務大臣がブラジルを訪問(2日 4日)
・ブラジルの外務大臣、文化大臣らと会談。
グルジア軍第33・42大隊がアフガニスタンに到着(3日)

・現地で活動している第12・32大隊と1カ月かけて交替する。
アラサニア防衛大臣がハンガリーを訪問(4日 5日)
・ヘンデ・ハンガリー防衛大臣と会談。軍事協力についての覚書に署名。
ライチャク・スロヴァキア外務大臣がグルジアを訪問(8日 9日)
・イヴァニシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣、アラサニア防衛大臣、ペトリアシヴィリ欧州・大西洋統合担当大臣、ティシュケヴィチ EUMM 団長らと会談。
サアカシヴィリ大統領がトルコを訪問(6日-10日)
・6日、イスタンブルでエルドアン・トルコ首相と会談。会談後のインタビューで、「ラバティの改修は行わないことと合意した」と発言。
・ブルサ県のグルジア人移民たちと面会。「グルジア語とグルジアの文化を維持するすべての人にグルジア国籍を与える」と約束。
・7日、アンタルヤで自転車で乗っていた際、腕を骨折。イスタンブルの病院に運ばれた。40針を縫う手術を行い、9日に退院。

3. 内政

政府が2014年に国勢調査を実施することを発表(2日)
・前回の国勢調査は2002年に行われた。
公選弁護人ウチャ・ナヌアシヴィリが2012年8月にロポタ渓谷で起きた武力衝突事件についての調査委員会を設置することを国会に要求(1日)
・2012年8月、グルジア北東部のロポタ渓谷(ダゲスタンとの国境から約20km)で起きた武力衝突で、グルジア特殊部隊員3人と武装勢力11人が死亡した。
・当時の政府の説明では、渓谷に潜伏していたテロリスト集団の掃討作戦中であった。
・ナヌアシヴィリ公選弁護人の調査によれば、グルジア内務省の高官が、密かにチェチェンへ入国させるという条件で、チェチェン戦争に参加していた兵士をヨーロッパから連れてきて訓練していた際に衝突が起こった。
選挙法の改正案の第一読を国会が承認(3日)
・欠員を埋める補欠選挙の実施に関する規則の改正。
・現行の制度では、5人以上の欠員があり、任期を2年以上残している場合のみ、9月あるいは10月に補欠選挙が行われる。

・改正案によれば、3人以上の欠員があり、任期を1年以上残している場合に、2月、6月、10月に補欠選挙が行われる。

・改正案が発効すれば、6月にトビリシ市議会を含むいくつかの市議会で補欠選挙が行われることになる。UNMは改正案は「グルジアの夢」がトビリシ市議会をコントロールするための方策であると非難。

イヴァニシヴィリ首相がヴァージン諸島に登録されたオフショア会社の所有者であったことを英ガーディアン紙が公表(4日)

グヴァラミア・アブハジア自治共和国(注:グルジア国内行政上の公式機関)首班が辞任(4日)

国会が司法最高審議会の改革案の第三読を承認(5日)

・司法制度を監督し、裁判官の任命や解雇の権限を持つ司法最高審議会(High Council of Justice)の15人の審議員の構成についての規則を変更し、司法の独立性を高めるもの。

・国会議員が審議員になることがなくなるほか、大統領が審議員を指名することもなくなる。

・現在の審議員が任期途中で審議員の資格を失うかどうかで与野党が対立していた。

・大統領が署名をして発効するが、署名拒否の場合には国会が再承認することで発効する。

4 . 経済

2012年末の時点で対外債務は134億米ドル(3月29日)

・公共部門31.8%、グルジア銀行4.4%、銀行部門18.5%、その他セクター24.1%、企業間債務21.3%。

・2012年第4四半期で5,810万米ドル増加。

年金が110ラリから125ラリに引き上げられる(1日)

ボルジョミの露市場への参入は許可されず(1日)

・露消費者保護監督局は、40以上の銘柄のグルジアワインの輸入を許可したが、ボルジョミについては再検査が必要と発表。

2013年3月のインフレ率は前年同月比 -2.1%、前月比 -0.1%(3日)

ソニーの代表団がグルジアを訪問(3日)

・ソニー代表団はイヴァニシヴィリ首相、クヴィリカシヴィリ経済・持続的開発大臣、マルグヴェラシヴィリ教育・科学大臣と会談し、ヴィジュアルアートアカデミーをグルジアに開設する計画について検討した。

生活保護受給世帯数が過去4年間で最低(4日)

・社会福祉局の発表によれば3月の生活保護受給世帯数は129,486世帯(前月比20,066減)、総支給額は10,327,987ラリ。